

# 『遊び場』と『大人の見守り』



佐藤 俊太郎 (ダッシュ)

ダッシュは4月より烏山プレーパークを離れ、世田谷プレーパークに異動になります。旅立つ前に現場に立つ中で感じていることをつづります。

『もぐらん』こども商店街に参加したことがある保護者の方は、子どもが自分の力で自由にお店づくり、商品づくりに挑戦するために、保護者の方は『見守り』に挑戦してくださいと何度も伝えられたかと思えます。大人が子どもの遊びに対してついついやってしまいがちな、安易な手伝いやアドバイスなどに対してです。

ゲームやインターネット、SNSなどが当たり前になった現在、様々な情報があふれ、求めればその情報をすぐ手に取ることができます。自分自身がゼロから試行錯誤して何かを成し遂げるといった場が少なくなっています。

日々現場に立つ中で、子どもの遊びに対する『見守り』この言葉の持つ曖昧さと幅の広さを感じています。プレーワーカーになった最初の頃は、子どもの自由は大人が手出し、口出しをしないことだと思っており、親が手伝おうとすると止めに入り、保護者と揉めるような場面も多々ありました。高いところに登りたい子どもがお父さん、お母さんにのせてもらおうとすることはよくあります。プレーパークでは自分の力で挑戦することを基本とし、そのような環境設定をしています。安易にのせてしまうことはせずに、子どもの力で挑戦して欲しいです。しかし、その事ばかりに囚われてもいけません。

ある日、一組の親子の遊びにおけるやり取りをしばらく眺めていました。その親子のやり取りの前後のストーリーを理解すると、みえてくる景色が変わってきました。子どもの「高いところへのせてくれアピール」に対し何度も挑戦をさせた上での、最後の対応として手を貸すといったものでした。最後の対応だけを切り取れば安易な手助けですが、その前のやりとりをみれたからこそ新しい発見であり、自分がみている親子のやりとりは、ほんの一瞬の切り取りでしかないのだと気付くようになりました。

このような場面を多く経験し、どの家庭も子どものやりたいに対して『見守り』に挑戦している。ただ、『見守り』の基準が家庭によって違うだけで.....この『見守り』の差を埋めていく必要があるのだと気付かされていきました。算数を習う際に“10”を求める問題があるとします。『5+5=?』と“?”を求められることが多いのではないのでしょうか。しかし、この答えは一つでしかありません。遊びにおいては『?+?=10』と“?”には沢山の選択肢があります。また、問題が解けなくても挑戦することに価値があります。

プレーパークにおけるプレーワーカーの役割は、いかに『好奇心の種』を蒔くことができるかが重要だと考えています。その種を子どもたちが自分で選び、各々のタイミングで大きく育てるための地ならしを日々しているのだと感じます。『好奇心の種』を蒔ける大人が周囲にいることが豊かな遊び環境をつくり、子どもの『原体験』が育まれていくと思います。子どもの遊びに対し『見守り』に挑戦できる大人が溢れる、烏山プレーパークと烏山地域であって欲しいです。



木に登るダッシュを見つめる子どもたち

プレーパークは、「子どもたちが自由にいきいき遊べる場所がほしい!」と願った住人たちが、区に働きかけて生まれました。世田谷区が場所と資金を提供して、地域の大人たちの手で運営しています。

♪子どもたちの「やってみよう!」を応援する遊び場です♪

あなたも「世話人」になって一緒に遊び場を創っていきませんか? 「もぐすけ」(イベントなどの助っ人)も常時募集中です

プレーパークは、世田谷区とNPOプレーパークせたがやが共同で運営しています。世話人会+もぐすけ こんなかたちで運営しています!

## リサイクルバザー開催のお知らせ

<日程>3月22日(土)23日(日)  
 <時間>10:00~15:00  
 <場所>烏山区民センター前広場  
 ご家族・お知り合いをお誘いの上、掘り出し物を探しに来てくださいね!

<烏山プレーパークをつくる会>

☀️乳幼児の外遊びを応援します!🌿

### ちびっこプレーパーク

毎月第2・第4金曜日

10:30~11:00から12:00までお楽しみやります

❖ 3月14日・3月28日  
 ❖ 4月11日・4月25日  
 ❖ 5月9日・5月23日

みんなでお昼ご飯を作って食べよう!  
 切ったお野菜や主食(ごはんやパン)食器を持ってきてね。  
 材料費としてひと家族100円  
 メニューはSNSでお知らせします

### プレーパークせたがや情報

Instagram

HP

FB

### 烏山プレーパークの地図

北山公園、お寺、スーパー、病院、甲州街道、山崎山、TEL: 03-5384-4593

~ボランティア募集中!~プレーパークは、プレーワーカーだけでなく来園者と共にみんなでつくり上げる空間です。プレーワーカーと一緒に遊具をつくらたり、修理をしたりしてみませんか?いきなりの遊具づくりがハードルが高かったら、遊具の気になる箇所を伝えてもらったり、プレーパークに落ちている釘やガラスなどを拾い届けてくれるなどの些細なことでも構いません!興味のある方はぜひプレーワーカーに声をかけてください!是非とも多くの方のご協力をお待ちしています。